

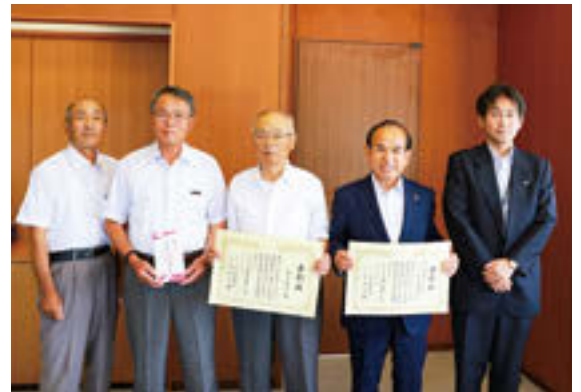
## めでたく満100歳 並木ミツさん(安達ヶ原)

この世に生を受けて一世紀。9月11日に並木ミツさん(安達ヶ原)がめでたく満100歳を迎えられ、二本松市からは賀寿、福島県からは賀寿と木杯が贈られました。並木さんの長寿の秘訣は、「食べ物をよく噛んで食べること。たくさん話をする事。」だそうです。並木さんのますますのご長寿をお祈りいたします。



## 日本道路協会の道路功労者表彰 二本松IC周辺の清掃美化活動に貢献

高速道路の環境美化に貢献したとして、東北道二本松バスストップ利用促進協議会(会長・二本松市長)と成八寿会(奥平多敬壽会長)が日本道路協会の道路功労者表彰を受賞し、8月22日に表彰状が市役所で伝達されました。両団体は平成23年秋から年2回、東北道二本松インターチェンジ(IC)周辺で花植えと清掃活動に取り組んでおり、成八寿会のメンバーは平成28年秋ごろから、菜の花プロジェクトとしてIC内を菜の花で彩り、利用者を花で歓迎してくれています。



鈴木永之ネクスコ東日本福島管理事務所長(写真右)から表彰を受けた三保市長と奥平会長(写真中央)ら

## 二本松市新エネルギー推進市民会議 市民による電力会社設立へ向け理解を深める

再生可能エネルギー推進事業に取り組む本市は8月22日、市民が主体の新電力会社「二本松電力(仮称)」の設立に向け、二本松福祉センターで第1回となる「二本松市新エネルギー推進市民会議」を開催しました。今回の会議では、再生可能エネルギー事業に取り組む意義などを共有するため、NPO法人環境エネルギー政策研究所の飯田哲也所長、鎌田知也農林水産省再生可能エネルギー室長、佐々木寛おらってにいがた市民エネルギー協議会代表理事から講演をいただき、参加した約120人の市民らが、再エネに対する理解を深めていました。



講演を熱心に聞き入る参加者ら

## 平成30年度二本松市優良建設工事表彰式 優良工事施工業者10社をたたえる

市が発注した建設工事の中から、優れた施工業者をたたえる「二本松市優良建設工事表彰式」が8月24日に市役所で行われ、10社(工事10件)が表彰されました。今年度は平成29年度に完成した工事162件のうち、事業費一千万円以上の市発注工事79件の中から17件が担当課から推薦され、書類と現地審査の結果10件を優良建設工事として決定しました。



受賞した10社の代表者らと集合写真

## 全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会 木幡べんてんジュニアが優勝！

東京都で8月5日に開催された2018全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会の男子ジュニア320キロ以下の部(男女混合可)において、木幡べんてんジュニアが優勝し、その報告のため8月10日に市役所を訪れました。木幡べんてんジュニアは、予選リーグで5連勝し、決勝トーナメントでも負けなしの完全試合でした。チームの主将・高橋碧羽くん(東和中1年)は、「去年負けた分、みんなの優勝したい気持ちが強かった。綱引きで学んだことを、今後いろいろな場で生かしたい」と述べました。



優勝を報告した  
木幡べんてん  
ジュニアの選手  
たち

## 日本カヌースプリントジュニア選手権大会 市内の高校生が2冠達成！

8月17日から22日にかけて、山梨県富士河口湖町で開催された文部科学大臣杯平成30年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会において、市内の高校に通う高校生が大活躍し、その報告のため8月29日に市役所を訪れました。訪れたのは、武藤吉紀選手(安達高3年)、小久保海杜選手(安達高2年)、青木瑞樹選手(安達高1年)、小山田香貴選手(二本松工業高1年)で、主な成績は次のとおりです。

- ・男子K-4(カヤックフォア・4人乗り)500m：第1位(武藤・小久保・青木・小山田)
- ・男子K-4(カヤックフォア・4人乗り)200m：第1位(武藤・小久保・青木・小山田)
- ・男子K-1(カヤックシングル・1人乗り)500m：第2位(青木)



写真左から、丹野  
教育長、小山田  
選手、武藤選手、  
三保市長、佐藤  
市体協会長、小  
久保選手、青木  
選手、遠藤県カ  
ヌー協会理事

## 第41回福島県消防操法大会 今までの練習の成果を披露

8月26日、福島市の県消防学校で県消防操法大会が開催され、二本松市からは市消防団安達地区隊第2分団の団員がポンプ車操法の部に出場しました。2年に1度開催されるこの大会は、消防団員の消防技術の向上を目的に開催されており、第2分団の団員たちは昨年12月から、早朝や仕事を終えた夜間、そして休日を返上して練習を積み重ねてきました。



競技中の選手たちで、写真は第1線の放水開始後

## 安達太良山岳遭難対策委員会夏山遭難救助訓練 万が一の事態に備え連携確認

8月30日、安達太良山などで遭難事故が発生した場合の山岳遭難対策関係機関の連携向上などを目的に、夏山遭難救助訓練が実施され、あだたら山の会の会員や消防署署員など約40人が参加しました。小雨が降る中、訓練では安達太良山での遭難事故を想定し、塩沢登山口を出発後、途中で担架を使った搬送訓練などが行われました。



あだたら高原スキー場での出発式に臨む捜索班の方たち

## 第1回二本松市未来戦略会議 50年先、100年先の二本松に向け意見交換

8月31日市役所にて、第1回二本松市未来戦略会議が開催されました。この会議は、二本松市の将来の発展に向けて、専門的な知識や民間の経営的な観点から、幅広い意見を求めるために開催するもので、課題やテーマを設けず委員の専門分野について討論してもらうものです。委員は全部で16人で、政策研究大学院大学名誉教授の黒川清さんや、セブン銀行特別顧問で二本松市の地方創生アドバイザーの安齋隆さんなど、いずれも各界の第一線でご活躍されている方々です。会議の議事要旨は、市ウェブサイトで公表しています。



第1回目の会議となった今回は、委員一人一人自己紹介をしながら、市の可能性について意見が交わされた

## 二本松市子育て世代包括支援センター開所式 切れ目のない子育て支援を目指します

9月3日、安達保健福祉センター内に設置された二本松市子育て世代包括支援センター(Mum)開所式が行われました。Mumには保健師2人と子育て支援員1人が常駐するほか、助産師1人が毎週水曜日の午前中に勤務し、母子保健や児童福祉など、出産期から子育て期までのどの相談にも対応します。開所式では、安達保健福祉センターを拠点に活動している子育てサークル・おひさまクラブの安齋里美さんと門馬由加里さん親子らがテープカットを行いました。



開所式に集まってくれた親子の集合写真



入賞を報告する金沢さん(左から3人目)ら

## 下水道いろいろコンクール 金沢結衣さん(杉田小5年)が全国で入賞

日本下水道協会が主催する、平成29年度の「下水道いろいろコンクール」絵画・ポスター部門小学校高学年の部で、金沢結衣さん(杉田小5年)の描いたポスターが、応募総数4,669点の中から国土交通大臣賞1点、日本下水道協会長賞1点に次ぐ入選7点の中の1点に選ばれ、その報告のため9月4日に市役所を訪れました。イルカの親子が水の中で楽しんでいる様子を描きたいと思った金沢さんは、お母さんからアドバイスももらいながら描いたそうです。

## 昭和タクシーによる第36回さわやかドライブ 好天に恵まれ、日帰り旅行を満喫



出発式終了後、旅行の参加者らがバスの前で集合写真

昭和タクシー(株)が主催する「さわやかドライブ」が9月12日に行われ、市役所で出発式が行われました。今年で36年目を迎えるこの事業は、日頃から地域の方々にお世話になっている感謝の気持ちを、福祉施設に通う利用者に1日ドライブしてもらう形で表したいという思いで始められたものです。この日は菊の里の利用者ら約85人が、バス3台とタクシー2台に分乗し、裏磐梯の旅行を満喫しました。

## 福島ビエンナーレ「重陽の芸術祭2018」 現代美術の祭典が今年も二本松で開幕

9月9日、3年目となる市内での重陽の芸術祭のオープニングイベントが行われました。9月9日は重陽の節句でもあり、菊松くんの誕生日でもあります。昼の部は小雨が降るなか県立霞ヶ城公園の天守台で行われ、参加者全員で菊茶で乾杯したあと、トランペット奏者のNobyさんによる演奏が披露されました。

夜の部は安達ヶ原ふるさと村農村生活館で『黒塚今様』と題した能が披露されました。三味線や箏、能管やハーブなどの楽器で奏でられる能の謡に合わせ、福島市出身のダンサー・二瓶野枝さんが、安達ヶ原に伝わる鬼婆伝説を見事なパフォーマンスで表現し、訪れた約250人の観客を魅了しました。



1\_霞ヶ城天守台で乾杯  
2\_市観光大使の大山采子さんと誕生日を祝う菊松くん 3\_黒塚今様の舞台となった農村生活館  
4・5\_音楽に合わせてダンスを披露する二瓶野枝さん 6\_能管を吹く佐藤厚子さん

